

令和2年度 研究の概要

1 研究主題

伝え合う活動を通して考えを深め、主体的に学び続ける子どもの育成

2 主体設定の理由

(1) 学校の教育目標と今日的課題から

本校では「夢をもち、心豊かに、ねばり強くがんばる子ども」を学校教育目標に掲げている。「明るく思いやりのある子ども（やさしく）」「夢に向かって挑戦し、進んで学ぶ子ども（かしこく）」「元気で、ねばり強く努力する子ども（たくましく）」を目指す子どもの姿とし、「生涯にわたって自ら学び、社会の変化に主体的に対応できる、心豊かでたくましい人間の育成」を目指している。

今年度から実施される学習指導要領では、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となる児童に、生きる力を育むことを目指すために育成する資質・能力として「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱が示された。発達の段階に応じて、教科等横断的・総合的にこれら3つをバランスよく育むことや「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。

また、秋田県においても「『問い』を発する子ども」の育成」を最重点の教育課題としている。「問い」を発しながら問題を解決するプロセスを重視し、問題を発見し他者との関わりを通して主体的に解決していく「秋田の探究型授業」の面から、授業改善に努めることが求められている。

(2) 昨年度までの研究と児童の実態から

本校では、平成30年度の「いのちの教育あったかエリア事業」（文部科学省委託事業）を受け、道徳科を窓口として「伝え合う活動を通して考えを深め、主体的に学び続ける子どもの育成」を研究主題として授業改善に取り組んできた。成果と課題は以下の通りである。

①成果

- ・道徳科の価値項目に対する子どもの意識を把握し授業を組み立てたり、資料提示を工夫したりすることにより、価値項目に対する子どもの自覚化が図られ、子どもたちの意欲の向上につながった。
- ・伝え合いの場が活性化され、自分の考えをもって伝え合い、他の考えにも触れることが主体的に学ぶことにつながった。
- ・基本的な学習の流れが確立され、学習の流れが分かる構造的な板書により考えの可視化が図られた。
- ・話し方・聞き方に対する意識の向上が図られた。

②課題

- ・話合いのタイミングの吟味や必然性のある対話の場を意図的に設定すること
- ・探究型スタイルの学習の継続や、自分の言葉で話すことができるようにするための手立ての工夫
- ・子どもたちの考えや発言を引き出したり、広げたり深めたりしていくための授業の改善

また、子どもの実態からは、多様な考えが出にくいことや、基礎となる力の定着が不十分なため伝え合う活動において考えの深まりが不十分であったことが課題である。

(3) 今年度の取組

今年度も昨年度と同様に「伝え合う活動を通して考えを深め、主体的に学び続ける子どもの育成」を研究主題とする。子どもたちの考えや発言を引き出し、伝え合う活動を通して考えを広げたり深めたりする授業改善を算数科を窓口として行うことで、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の育成を図り、教科の目標を達成していきたい。

3 学習過程における目指す子どもの姿

- 見通しをもって進んで学ぶ子ども
- 他者と関わり自分の考えを深める子ども
- 学んだことを次の学びへつなげていく子ども

4 研究の仮説

【仮説1】子どもたちの考えや発言を生かした授業づくりを工夫し、達成感や成就感を味わわせることで、主体的に学ぶ子どもの育成が図られるのではないか。

【仮説2】伝え合う場の充実を図ることで、子どもたちは考えを広げたり深めたりできるのではないか。

5 今年度の研究の重点と共通実践事項

(1) 授業改善（下線部は、教科横断的に行っていく）

本時で子どもに付けたい資質・能力を明確にした授業づくりをする。

授業づくりのために「プランシート」を活用する。

①主体的な学習のための工夫

- ・導入の工夫
- ・課題づくりの場の設定
- ・見通しをもって問題を解決するための支援
- ・数学的活動の楽しさや算数のよさに気付くための手立ての工夫
- ・考えが深まったという自覚がもてるためのふり返りの充実

②伝え合う力（場）の充実

- ・自分の考えをもたせるための工夫
- ・伝え合う目的の明確化
- ・根拠を明らかにして図・数・式・表・グラフ等と関連付けて考えたり説明したりする場の設定
- ・同じ点・違う点を見付けたり，算数用語を使って表現したりするための指導

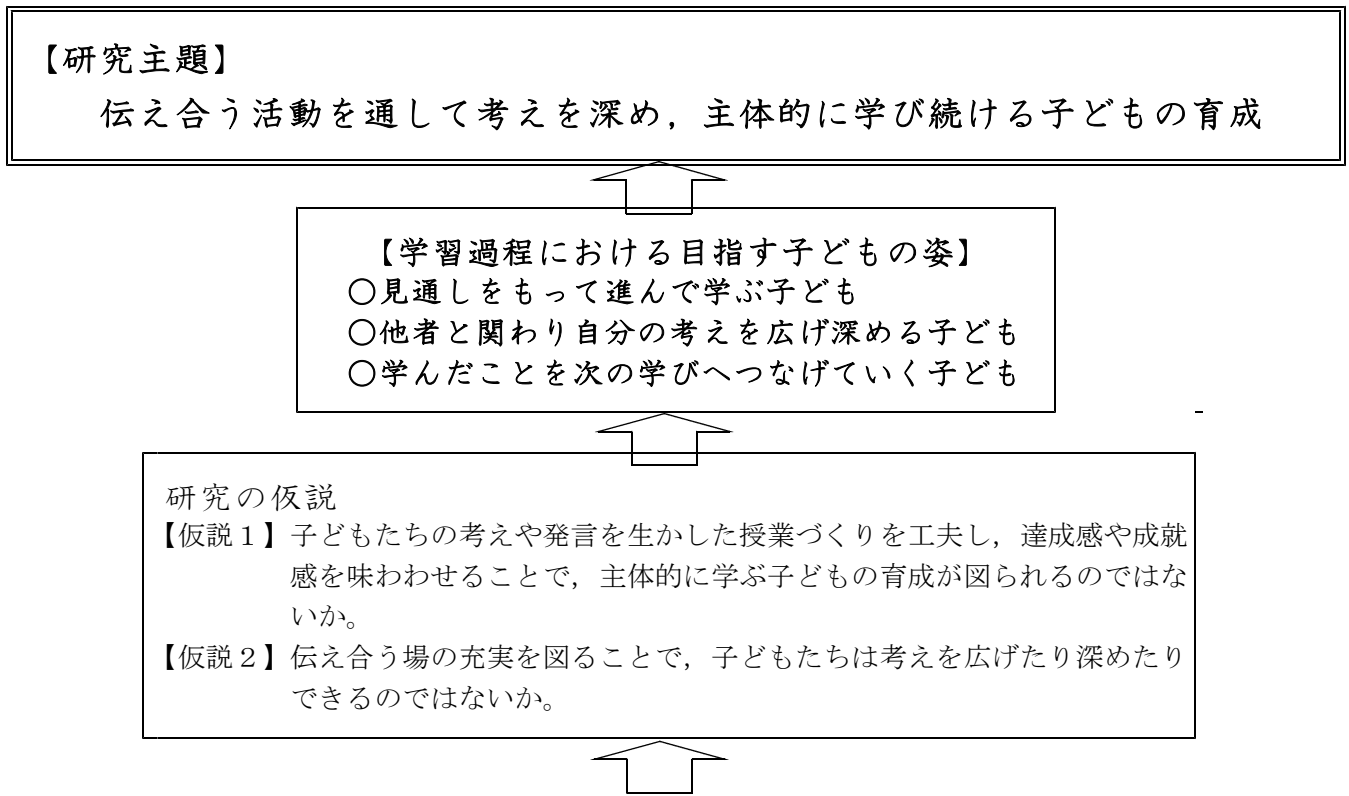
(2) 基礎的・基本的内容の定着

- ・「話し方・聞き方のステップカード」の活用
- ・ノート指導
- ・継続的なミニテストの実施
- ・長期休み明け全校テストの実施
- ・朝学習の計画的な実施と充実
- ・辞書引き大会の実施
- ・単元テスト等を活用した美里ミニタイムの実施

6 授業改善に於ける具体的な手立て（例）

	授業の流れと共通実践事項	具体的な手立て（例）
つかむ	<p>導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入の工夫（主） <p>課題の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 日常の事象と結び付けたり、「なぜだろう」と考えてみたくなるような問題との出会い □ 子どもの声を生かした課題設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 少し考えさせてから知りたいことは何か考えさせる。 ・ 前時の学習と何が違うのか考えさせる。 ・ 数字の規則性や図形の規則性に気付かせる。
考える	<p>自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって問題を解決するための手立て（主） 自分の考えをもたせるための工夫（伝） 	<ul style="list-style-type: none"> □ これまでの学習から、問題（課題）解決に使えるような物は何かを考えさせる。 ・ 図・表をかく・数直線・位取り表、等（何を用いて自力解決するのか、つかませる） ・ 何に注目するとよいの問いかける。 □ 机間指導しながら声をかける。 ・ 取り上げる考えを吟味する。
練り合う	<p>伝え合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝え合う目的の明確化（伝） 根拠を明らかにして図・数・式・表・グラフ等と関連付けて考えたり説明したりする場の設定（伝） 同じ点・違う点を見付けたり、算数用語を使って表現したりするための指導（伝） 数学的活動の楽しさや算数のよさに気付くための手立ての工夫（主） 	<ul style="list-style-type: none"> □ 考えを集約する、多様な考え方を知る等話合いの目的を明確にする。 ・ 考えが深まっていくような取り上げ方の工夫 ・ 考えを比較・検討したり、考えを整理しつなげたりできるような板書の工夫 ・ 考えを言語化する活動をコーディネートする。 ・ 友達の考えた式や図を説明する場の設定 ・ 同じ考えでも自分の声や言葉で説明させる。 ・ 類似点や相違点等の発見を促す発問 ・ 「は・か・せ」の活用
まとめる	<p>まとめ</p> <p>終末</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えが深まったという自覚がもてるためのふり返りの充実（主） 	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題とまとめの整合性 ・ 子どもの言葉（考え）を生かしたまとめ ・ 練習問題や応用問題 ・ ふり返りの視点の工夫を与える。 <ul style="list-style-type: none"> 見通しや学習の中でよかった点 友達のよいところ 考え方や、着眼点のよさ 気持ちの変容、驚きや感動 算数の美しさ 等

7 研究全体構想図



◇研究の内容と主な施策◇

(1) 授業改善	(2) 基礎的・基本的内容の定着 (学習指導部と協力して)
<ul style="list-style-type: none"> ・本時で子どもに付けたい資質・能力を明確にした授業づくりをする。 ・授業づくりのために「プランシート」を活用する。 ①主体的な学習のための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・導入の工夫 ・課題づくりの場の設定 ・見通しをもって問題を解決するための支援 ・数学的活動の楽しさや算数のよさに気付くための手立ての工夫 ・考えが深まったという自覚がもてるためのふり返りの充実 ②伝え合う力(場)の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもたせるための工夫 ・伝え合う目的の明確化 ・根拠を明らかにして図・数・式・表・グラフ等と関連付けて考えたり説明したりする場の設定 ・同じ点・違う点を見付けたり，算数用語を使って表現したりするための指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し方・聞き方のステップカード」の活用 ・ノート指導 ・継続的なミニテストの実施 ・長期休み前プレテストや休み明け全校テストの実施 ・朝学習の計画的な実施と充実 ・辞書引き大会の実施 ・単元テスト等を活用した美里ミニタイムの実施



8 資料

(1) プランシート

授業プランシート（算数・数学）B
年 単元

問題

・課題設定のための手立て（なるべく子どもの声から課題を設定する）
EX
・少し考えさせてから知りたいことは何か考えさせる。
・前時の学習と何が違うのか考えさせる
・数学の規則性や図形の規則性に気付かせる
等

課題

語尾～だろうか。
～かな。

・子どもが考える手立て（図・式・表など）の提示
・予想される子どもの反応（考え）
・取りあげたい考え
等

まとめ

課題と整合する。

練習問題 どの何をやるか。どんな問題を取りあげるか。

振り返り どんな振り返りが出てくる姿を想定して授業を組み立てるか。

授業プランシート（算数・数学）
授業日時：平成 年 月 日 () 校時
学年・単元： 年 単元

↓ 構想・立案の流れ ↑ 本時の授業の流れ

①本時のねらい

②ねらいを達成した子どもの姿（評価規準）

評価の観点：

③評価問題

模範解答

④想定しているまとめ

⑤想定している比較・検討

← 取り上げたい考え

⑥想定している学習課題

← 学習課題等の設定の工夫

⑦学習問題

(2) 話し方・聞き方のステップ

美里小 <小学校1・2年>

はなしかた・ききかたのステップ

ステップ1
はなしている人からだをむけ、
さいごまできく。

ステップ2
ともだちのはなしをうけて、はなす。

ステップ3
じゅんじよに気をつけてはなす。

美里小 <小学校3・4年>

話し方・聞き方のステップ

ステップ1
うなずきやあいづちなど、
反応しながら聞く。

ステップ2
友達の話を受けて、
立場を明らかにして話す。

ステップ3
結論を述べてから、その理由を話す。

美里小 <小学校5・6年>

話し方・聞き方のステップ

ステップ1
自分の考えと比べながら聞く。

ステップ2
他の考えや意見とつなげて話す。

ステップ3
話の根拠を明らかにして話す。

(3) 算数のよさの揭示

さんすうのよさ

は やい

か かんたん

せ いかく

算数のよさ

は やい

か かんたん

せ いかく

算数のよさ

は 速い

か 簡単

せ 正確